

## 経済学部

### 教育目標、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミSSION・ポリシー

#### 【教育目標】

創立以来、日本における経済学研究の発展を担ってきた経済学部は、大阪大学の教育目標にしたがい、また「経済」の本来の意味である「経世済民」——世を経（おさ）め、民を済（すく）う——の精神にもとづいて、人類の幸福の向上に努める「温かい心」（warm heart）をもった人材、そして日本や世界で生起するさまざまな経済・社会現象に関する法則を理論的、実証的、歴史的にとらえる「冷静な頭脳」（cool head）をもった人材の育成をめざします。

経済学部では、世界に通用する最先端の経済学と経営学を基礎から体系的に習得すること、専門知識を実践に応用する上で必要とされる人間社会あるいは自然界に関する幅広い教養を身につけること、さらには、未解決の問題に対して糸口を見つけ、解決までの道筋を自らのアイデアで作り上げていくデザイン力を養うことを目標に、体系的なカリキュラムと充実した少人数教育の体制を整えています。学科は経済・経営学科のみであり、経済学と経営学の区別にとらわれない学習が可能です。

グローバル化する経済の中で、リーダーシップを発揮して世界各地で活躍してもらうことを願い、学部の段階から国際性が養えるよう、外国人留学生との交流の場や交換留学制度などを用意しています。

卒業後、民間企業や官公庁への就職、あるいは大学院への進学など、各人が適性に合った多様な道に進むよう、学生一人一人の個性を育むことをめざします。

#### 【ディプロマ・ポリシー】

経済学部は、大阪大学のディプロマ・ポリシーに則り、また、人類の幸福の向上に努める「温かい心」と経済・社会現象に関する法則を理論的、実証的、歴史的にとらえる「冷静な頭脳」をもった人材を育成するという教育目標にもとづき、学士課程教育を通じて以下の基準を満たす学生に学位を授与します。

- （１）世界に通用する経済学や経営学の基礎知識を体系的に習得している
- （２）論理的に思考する能力をもっている
- （３）専門知識にもとづいて現実の経済・経営問題を理解する方法を習得している
- （４）人間社会および自然界に関する幅広い教養を身につけている
- （５）未解決の問題に対して、解決までの道筋を自らのアイデアで作り上げていくデザイン力を備えている
- （６）自国の経済問題だけでなくグローバルな諸問題にも関心をもっている
- （７）日本人および外国人と心を開いて対話するコミュニケーション能力がある
- （８）自分の考えや意見を論理的に、そして説得力をもって話したり書いたりする能力を身につけている

経済学部が授与する学位には、卒業後、民間企業や官公庁、あるいはシンクタンクや大学院など、個人の適性に応じて多様な道に進み、将来、それぞれの分野において大きな成果をあげてほしいという願いが込められています。

### 【カリキュラム・ポリシー】

大阪大学の学部カリキュラム・ポリシーのもとに、経済学部では、教育目標にしたがった体系的なカリキュラムを用意しています。学科は、経済・経営学科のみであり、経済学と経営学の区別にとられない学習が可能です。入学後には、全学共通教育科目を中心に学習します。まず、経済学や経営学の専門知識を実践に応用する上で必要となる幅広い教養を身につけることを目的に、人文科学、社会科学、自然科学等についての科目を履修してもらいます。また、グローバル化する経済の中でリーダーシップを発揮するために必要となるコミュニケーション能力を身につけるために、外国語や情報処理関連科目等も用意されています。専門教育科目においては、数理的な分析ツールを身につけた上で、経済学、経済史、経営学の基礎知識を学びます。その後、これらの分析ツールと基礎知識を応用しながら、経済学、経済史、経営学における、より専門的な科目を履修し、経済・社会現象を理論的、実証的、歴史的にとらえるための知識と思考法を学びます。さらに、現在の経済や企業が直面する問題や最先端の研究成果を学ぶ、より高度な科目も用意されており、それらのいくつかは英語で行われます。講義科目の多くは、試験をもとに、課題への取組などを考慮し総合的に評価されます。

少人数による演習も充実しています。演習では、現実の経済・社会問題をテーマに、教員の指導のもと、そして学生同士の議論を通じて解決策を探ります。講義科目で修得した経済学・経営学の知識と思考法を駆使しながら、問題解決のためのデザイン力が養われ、教員や他の学生との豊かな人間関係を築くことも求められます。多くの演習では、参加の姿勢や報告内容などにより評価されます。経済学部には多くの外国人留学生が在籍しており、多様な文化的背景をもつ学生とともに学び、交流する環境が整っており、交換留学制度等を利用して海外で学習する機会も開かれています。

### 【アドミッション・ポリシー】

経済学部は、経済学および経営学に関する知識を忍耐強く習得し、自分の適性を発見して社会の多様な道に進み、それぞれの分野において将来大きな成果をあげてくれる人材を求めます。大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとで、経済学部は、そのような素質を持った学生を大学入試センター試験及び個別学力検査によって選抜します。

- (1) 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語についての基本的な知識及び理解度について、大学入試センター試験及び個別学力検査（前期日程入学試験、後期日程入学試験）によって、多様な評価方法にもとづき、選抜を行います。
- (2) 理科系志望も含む多様な人材を選抜するため、入学試験における評価の対象となる大学入試センター試験科目について多様な試験科目の選択を認め、高等学校において理数系科目を重点的に学んできた人材についても個別学力検査への門戸を開きます。
- (3) 総合的な能力を持つ人材だけでなく、特定の分野で高い能力を持つ人材を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査の総合判定において複数の科目配点方法を採用し、総合点の評価とともに、特定の科目における優秀な成績を評価に入れます。
- (4) 留学生については、私費外国人留学生特別入試を実施し、日本語能力と特に数学に関する基礎的な知識と理解度を判定し、数理的・論理的な思考能力を持った勉学意欲にあふれる人材を選抜します。